



# コーちゃん・オーちゃんの 「見つけた！豊岡元気人」



パソコンで漫画を執筆



文筆家甲斐みのりさん(左)とのトーク  
ショー(豊岡劇場)



神鍋高原での生活を満喫するひうらさん

「千物女」をはやらせた人気漫画家  
ただ今、神鍋高原で執筆中!!

漫画「ホタルノヒカリ」の作者で、神鍋高原で暮らし、漫画を描き続ける元気な女性を紹介します。

ひうらさん(46歳) 口高町名色

神鍋高原で漫画を描き始めて1年半。「千物女」、「ヒゲの妊婦」など、独特な表現で読者を魅了する漫画家が、ひうらさんです。

## 走り続けた「千物女」

大阪生まれのひうらさん。中学生時代は「漫画だけ描いて生活して、いくつになっても漫画を読んで生きていく」と夢見ていました。美術系の高校に進学し、在学中に、少女漫画雑誌「なかよし(講談社)」に投稿。18歳で「あなたと朝まで」で漫画家デビューしました。27歳で独立し、以後数々の漫画を描き続けています。

中でも、37歳で執筆を開始した「ホタルノヒカリ(Kiss・講談社)」には、特別な思いがあります。テレビドラマ化・映画化されたこともありますが、「思い描いていたことがやっとそのまま形になった作品」と振り返ります。「20代で恋愛を放棄する女：千物女」。ひうらさんの分身で千物女の主人公「雨宮螢」の性格・生活スタイルなどに、多くの女性が共感しました。

独立後のひうらさんの生活

は、大半が仕事。締め切り前は、睡眠時間が30分ということも。当時は「やさぐれた毎日のヒゲ(仕事おっさん)の漫画家」と例えます。

しかし、「42歳での妊娠」が、大きな転機となりました。

## 妊娠が教えてくれたこと

「ホタルノヒカリ」の連載終盤での妊娠発覚。心の中で、「ハードワーカー仕事おっさんと、ゆるふわプレおっさんが激しく攻防」と表現します。「仕事の手は抜けない。しかし、妊婦として無理もできない」葛藤。仕事は思うように進みませんでした。両立に悩んだ末、「おっさんになっても、急に漫画家の自分が消える訳ではない」との考えに至り、育児の時間を無理して作ってもらいました。

現在は、午前3時から子どもが起きる7時まで集中的に仕事をし、午後6時には仕事を切り上げ、家族との時間を大切にしています。「仕事のペースは落ちましたが、暮らしても仕事も楽しんでいることを実感します。だんなはん(夫)が家事に協力してくれるので感謝しています」と微笑みま

また、漫画をパソコンで描くことを、妊娠中に習得しました。編集者やアシスタントとは、メールや電話で打合せ。このことが、出産後、神鍋高原で漫画を描くことを可能にしました。

## 発見！発見！豊岡暮らし

夫の実家が日高町という縁で、昨年の夏を神鍋高原で過ごしました。何度か神鍋高原と東京を往復するうちに、自分たちの生活に合っていると感じるようになり、夏以降も暮らし続けています。「水や空気にほっとするおいしさがあります。生まれて初めて見た天然の蛍の美しさに驚きました。ここでの生活は、連載中の『うらら(Kiss・講談社)』に影響しています」と魅力を語ります。

また、豊岡には、お菓子の神様を祭神とする神社があることを発見。「お菓子の神様って、漫画っぽい。漫画にしてみたいです」と構想を打ち明けます。「豊岡を全国にPRしてください」とのお願いには、笑顔で「もちのろん(もちろんです!!)」とのこと。頼もしい豊岡ファンの誕生です。

# 日高西中学校(日高)

案内者 安積大地くん(3年2組)



日高西中学校の在校生は134人で、生徒会スローガンに「地域とのふれあいと生徒の絆を大切にし、明るく活気ある日高西中学校にする」を掲げています。

同校に通う安積大地くんは、11月末まで生徒会長を務め、部活動はクラブ部に所属していました。クラブ部では、学校のホームページの更新を手掛けたリ、パソコン検定に向けた勉強をしています。「パソコン検定4級を取ったときは、今までの勉強が役に立ってうれしかった」と話していました。今回は、「学校のホームページをできるだけ多くの方に見



てもらいたい」と話す安積くんは、「日高西中学校を紹介してもらいました。」

日高西中学校は、学年を問わず仲が良く、特徴ある三つの取組みをしています。

一つ目は、「地域の方々とのふれあい」です。設立4年目の「ふれあいサークル」は、希望者が参加し、月に一度、高齢者宅や福祉施設に伺い、お話しやお手伝いをしています。参加した多くの生徒から「昔の話を聞くことができ、勉強になった」との感想を聞きました。



▲地域の方から伝統芸能を教わる生徒たち

また、読書の時間には、地域の方に読み聞かせをしていただいたり、音楽の時間を利用して、和楽器の演奏法を教えしてもらっています。体育祭では、地域の方から教えてもらった踊りを披露しました。こうした伝統芸能の継承をはじめ、地域の方との交流を多く取り入れた活動をしてきました。

二つ目は、「あいさつ運動」です。毎朝、生活交通委員が校門に立ち、あいさつをします。生徒は、自分から率先してあいさつし、学校ではもちろん、地域でもしっかりとあいさつをするように心掛けています。また、文化祭であいさつができているクラスを表彰しています。三つ目は、「清掃活動」です。毎日昼休み後の15分間、校内を掃除しています。この間は私語を慎み、集中して行います。全校生徒が意識して掃除をしているので、校内はとてきれいです。後輩たちには、校内に設置している意見箱などで全校生徒の意見を聞き、また地域と一緒にあってより良い学校をつくってほしいです。

## 笑顔の輪

楽しく健康づくり...からの、ダンススッ!

さんピー 3Bジュニア Jr.田鶴野キッズ(豊岡)

「3Bらびい Jr.田鶴野キッズ(以下「3Bジュニア」)は、田鶴野小学校の児童7人が始めた運動教室をきっかけに活動を始め、現在26人(学年別に3グループ)。毎月第2・4水・土曜日、田鶴野地区公民館で練習しています。

グループ名にある「3B」は、健康体操の一つ「3B体操(※注)」のこと。3Bジュニアは、3B体操を取り入れたダンスに



▲練習後も元気いっぱい

またそれができるのがすごい」と高く評価します。3Bジュニアのリーダー森脇来未さん(田鶴野小6年)は「だんだんテンポの早い曲になって、みんなに合わせてるのが難しいけど、本番で上手に踊れたときは本当にうれしい」と話します。上級生が下級生の面倒を見たり、教えたりして、練習中も和気あいあい。

活動の成果を、「とよおか元気あっぷフェスタ」や「みてえなダンス」、「但馬ドーム キッズフェスティバル」、「地区公民館文化祭」などのステージで元気よく発表しています。活動当初は、永尾さんの選

春に向け、3Bジュニアのメンバーは、新たな曲でのダンスにチャレンジしています。

※注...ボール、ベル、ベルターという3種の手具を補助具として使う体操